



金融 事情

JETRO



ガーナ

BOP層実態調査レポート

マイクロファイナンス（小規模融資）

貧しい人々に担保や保証人無しで小口の融資やサービスを提供し、事業拡大や収入の増加を図ることで自助努力を促すマイクロファイナンスは、ガーナでも古くから行われている。アフリカで最初の信用組合はガーナ北部でカナダのカトリック宣教師によって、1955年に設立された。

現在、ガーナで一般的になっているススと呼ばれる非公式の預金方式は、ナイジェリアで始まり、1990年代初めにガーナに広がったものである。

マイクロファイナンスの主な利用者は、農業、食品加工、小商い、サービス提供、露天販売などを行っている都市部および農村部の女性である。

現在、次のような機関がマイクロファイナンスを行っている。

- Ghana Co-operative Credit Unions Association (CUA)
- Ghana Co-operative Susu Collectors' Association (GCSCA)
- Association of Financial NGOs (ASSFIN)
- GHANA COOPERATIVE COUNCIL (GCC)
- Ghana Microfinance Institution Network (GHAMFIN)
- ARB APEX BANK



Commercial Bankの建物



アクラにあるATM



出張者が見たガーナ

■ 換金方法 ■

ホテル、銀行、両替屋で、米ドル、ユーロなどから現地通貨のセディに交換することができる。レートはそれぞれで異なる。

■ クレジットカード ■

大手のホテルや外国人向けのレストラン等で利用できるが、まだ一般的ではない。主にVISAとMasterCardが、場所によってはDiners ClubまたはAmerican Expressも利用できる。



インターネットバンキングの広告看板

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。